



2026年 8 月 20 日 第2663回例会
8 月 第 2 例会

RI会長メッセージ：CREATE LASTING IMPACT
「持続可能なインパクトを生み出そう」

本年度会長テーマ
「誇りと責任」

「会員増強・新クラブ結成推進月間」「平和月間」

◆ 会長時間 ◆

加藤会長



8 月は「平和月間」とともに「会員増強・新クラブ結成推進月間」です。

この 8 月に会員増強月間がある意味は、新しい年度になったばかりで、スタートダッシュの意味合いも含め、早期に取り組むようにという事であると推察できます。ただし会員増強は、年間を通じて続けていくべき最重要事項だと思っております。どうかご理解ご協力をよろしくお願いいたします。但し、急激な会員増強は組織基盤を脅かす事があるようです。企業も組織も急激な成長は反動を呼ぶ恐れもありますので、そこは注意したいところです。

本年度RIのオンラインカ会長によると、2030年までに125万人という会員数の目標を掲げておられます。また各クラブでは、過去5年から7年を振り返って、会員数をもっとも多かった年を超える目標を掲げましょう、と啓蒙されておられます。当クラブの会員数をもっとも多かった年度は1991-92年度で104名です。2014-15年度の74名から順調に会員数は増加しております。それはこれまでの諸先輩方のクラブ内の雰囲気作りや、奉仕活動に対する姿勢など、当クラブの公共イメージ向上によるものであると感じております。

一方で会員減少に歯止めがかからない日本のロー

タリーでは、例会の回数やオンライン例会など、柔軟性を持ったクラブが誕生しています。衛星クラブやEクラブ、ローターアクトクラブ等は、時間や費用の負担が少なく奉仕活動ができる、入りやすいクラブとなっているようです。当クラブは会員数は順調ですが、将来的には歴史と伝統を大切にしつつも、若い方が入りやすく、またお仕事をリタイヤした方も長く続けていける事ができるクラブに少しずつ変わっていく必要があるのかも知れません。

お盆は明けましたが、残暑がまだまだ厳しいようです。しっかりと体調管理をされるようお願いいたします。

● 会務報告 柴田幹事

※ 次週27日の例会はガバナー公式訪問となっておりますので、多数のご出席をお願いいたします。

※ 他クラブ例会臨時変更

- 8月31日(月) 広島廿日市RC 休会
- 9月 7日(月) 広島廿日市RC 例会場変更
- 9月 8日(火) 広島西南RC 創立40周年記念式典
- 9月 9日(水) 広島陵北RC 夜間例会
- 9月14日(月) 広島廿日市RC 休会
- 9月25日(金) 広島城南RC 休会

● 委員会報告

※ プログラム・出席委員会

出席報告 安原君

本日（8月20日・木曜日）

会員数 93名 出席者 83名

欠席者 10名 ご来客 0名

ご来賓 0名 ゲスト 0名

計 83名

4週前の例会 2026年7月9日(木)

出席率 100%



※ ロータリー情報委員会 鈴木委員長

「新会員を囲む懇談会」のご案内

このたびロータリー情報委員会では親睦活動委員会と連携し、入会後のフォローアップを行う目的で、お酒を飲みながら親しく懇談する場「ファイヤーサイドミーティング」を下記の通り開催いたします。

記

開催日時／2026年9月24日(木)

18：30～20：30

場 所／ANAクラウンプラザホテル広島

ルーフトップ・ビアガーデン

会 費／6,000円（後日会費にて徴収）

案 内 先／会長、会長エレクト、副会長、直前会長、幹事、副幹事、理事、ロータリー情報委員会、親睦活動委員会

※ ロータリー情報委員会 吉田(大)君



今日はロータリーで使われている「ラーニングファシリテーター」という言葉についてお話ししたいと思います。

以前、ロータリーでは「クラブ研修リーダー」や「トレーナー」という呼び方が一般的でした。しかし近年、ロータリーは「Training（研修）」から「Learning（学習）」へと考え方を進化させています。そのため、「トレーナー」という名称も「ラーニングファシリテーター」へと変

更されました。これは単なる名前の変更ではなく、学びに対する考え方そのものの変化を表しています。従来の研修は、講師が知識を伝え、参加者がそれを聞くという形が中心でした。しかしロータリーが目指しているのは、参加者が主体となって学び合う形です。ファシリテーターは先生ではありません。会員一人ひとりが持っている経験や知識、考え方を引き出し、お互いに学び合える場をつくる人なのです。

考えてみますと、ロータリーにはさまざまな職業の専門家が集まっています。経営者、医師、弁護士、教育者、技術者など、多様な経験を持つ会員がおられます。そのため、学びは必ずしも前に立つ一人の講師から得るものとは限りません。むしろ、会員同士の対話や意見交換の中に多くの学びがあります。ラーニングファシリテーターは、そのような学びの機会を設計し、参加しやすい雰囲気をつくり、全員の意見が共有されるよう支援する役割を担っています。聞く力、質問する力、そして会員の可能性を引き出す力が求められると言われています。

私は、この考え方はロータリーの理念にも通じると 생각합니다。ロータリーは奉仕団体であると同時に、人間形成の場でもあります。誰かが一方的に教えるのではなく、お互いの経験を尊重しながらともに成長していく。その中心的な役割を担うのがラーニングファシリテーターなのだと思います。

言い換えれば、「知識を与える人」から、「学びを引き出す人」へ。「教える組織」から、「学び合う組織」へ。

それがロータリーにおけるラーニングファシリテーターの意味ではないでしょうか。ちなみに広島西RCの今年度ラーニングファシリテーターはロータリー情報委員会委員長の鈴木君が兼務されています。

※ 国際奉仕委員会 玉木委員長

2027年ロータリークラブ国際大会inバルセロナへの参加意思確認アンケートを、7月21日の例会時に、ボックス配布させていただきました。その集計の結果をご報告いたします。

アンケート結果は参加希望者4名、現時点で未定の方13名です。

● 同好会報告

紫友会

上野(寛)世話人



紫友会第2回例会は、8月8日(土) 晴天の中、芸南C.C.にて開催いたしました。6組24名でのラウンドとなりました。

優勝は、OUT40 IN43 グロス83 HDCP 16.2 ネット66.8の三吉君でした。準優勝は田原君、3位はシニア優勝とあわせて柳原君、BB賞は木本君でした、バスグロ賞はグロス71の田原君でした。おめでとうございます！

次回紫友会第3回例会は、9月12日(土) 芸南C.C.にて開催いたします。

● 会員記念日

祝 連続出席100% (3名)

中村(哲)君(36年) 上田君(26年)
村上(健)君(10年)

連続出席記念品贈呈



10年 村上 健一 君



本日は100万ドルの食事例会です

● スマイルボックス

SAA 木本君

柴田君(自主申告・トリプル)

次男の聡司が所属している「元、コーラス

部」と言う7人のアカペラグループが、先週の14日、マツダスタジアムでの阪神戦で、国歌斉唱をさせていただきました。趣味で活動しているグループですが、YouTubeでは、14万人のフォロワーがあるようです。

来月は、小さなホールですが、東京と大阪でコンサートを開催しますが、東京はチケットが既に完売しているとの事です。YouTubeで「元、コーラス部」と検索をしてみてください。

川西君

7月14日の経済レポートにトータテグループの記事がありました。

トータテグループは、住宅事業で培った設計・施工ノウハウを活かした非住宅建築およびリノベーション事業をされています。

ご子息の川西代表は「建築物に求められる役割が多様化する中、課題解決と魅力ある空間づくりを支援し、地域社会の発展と持続可能な街づくりに貢献していく」と話されていました。

紫雀会

優勝の木本君はダブル、2位の鈴木君と3位の笹野君もご出宝お願いします。

紫友会

紫友会初優勝の三吉君はダブル、2位の田原君はバスグロ賞と合わせてダブル、3位の柳原君はシニア優勝と合わせてダブル、ブービー賞の木本君もご出宝お願いします。

■ 会員組織部門 強調プログラム

会員組織部門 斉藤 昭一 理事



本日の強調プログラムの趣旨説明

会員増強・新クラブ結成推進月間に因み、会員組織部門3委員会から会員増強について話すにあたり、「ロータリーの会員組織基盤」について

お話しします。ロータリーは、さまざまな職業を持つ会員が集まり、例会で親睦を深め、卓話を通じて学び合いながら奉仕活動を実践する団体です。世界200以上の国と地域、日本国内では2,000を超えるクラブと8万人以上の会員が所属し、「会員こそが最大の財産」と言われています。

会員組織基盤には大きく三つの柱があると考えます。第一は「多様性」です。異なる職業、世代、価値観の会員がいることで、広い視野で地域の課題を捉え、創造的な奉仕プロジェクトを生み出すことができます。第二は「継続性」です。ロータリーの120年以上の歴史は、先輩方が守り育ててきた会員基盤の継続性そのものです。例会、卓話、奉仕活動という日常の積み重ねがクラブ文化を形づくり、新しい会員へ受け継がれていきます。第三は「主体性」です。ロータリーは各クラブの自主性と、一人ひとりの会員の主体的な参加によって成り立っています。例会への出席、委員会活動、奉仕プロジェクトへの参画、卓話での発信など、会員が一步踏み出すことでクラブは「生きた組織」になります。

年度ごとの重点分野やテーマが会員一人ひとりの行動に落とし込まれてはじめて力を持ちます。ロータリーの魅力は、理念以上に「このクラブの仲間となら、少し無理をしてでも一緒にやってみたい」と思わせてくれる会員同士のつながりにあると感じています。そのつながりこそが会員組織基盤の一番の強みです。多様性、継続性、主体性を大切にしながら、私自身もその一員として、わがクラブの基盤を少しでも強くしていけるよう努めてまいります。

職業分類・会員増強委員会 田中 健志 副委員長



会員増強の中心をなす委員会としての 新会員入会促進について

職業分類・会員増強委員会では、今年度、未充

填の職業分類を見直し、必要に応じて新設・変更・廃止を行うとともに、会員増強について全会員にロータリアンに相応しい人の推薦をお願いし、純増3名を目標に活動します。また、各委員会副委員長を通じた働きかけや例会でのPR、戦略的オープン例会の検討も行います。

増強目標の達成には全会員の協力が不可欠です。まずは新会員候補者情報カードを提出していただき、多くの会員から多様な人材の情報を寄せていただきたいと思います。推薦にあたっては、職業分類・会員増強委員会に相談し、広島西RC運営内規第2条の会員選挙要領に沿って手続きを進めます。候補者について職業分類規定との照合や同業種会員の意見を確認した後、理事会で入会手続き開始を審議します。その後、正会員および在広他クラブへの通知、会員選考委員会による会員資格要件や人格、職業上・社会的地位、一般的適格性の確認を経て、理事会が入会の承認または不承認を決定します。

資料では、2026年7月1日現在の広島西RCは会員91名、平均年齢64.38歳で、90歳代1名、80歳代8名、70歳代22名、60歳代28名、50歳代23名、40歳代9名、30歳代0名となっています。若い会員を含め、創立以来受け継がれてきたロータリーの志を世代を超えて継承するに相応しい人格者を、多様性にも配慮して推薦していただきたいと思います。会員増強委員会だけでは難しいため、全会員の皆様のお力添えをお願いいたします。

会員選考委員会 中村 哲朗 委員長



広島西RCとして望ましい新会員像について 広島西RC会員の皆さんへお尋ねします。

あなたが広島西RCの例会や委員会等に出席されたとき、居心地の良いクラブだと感じられますか？それとも自分の居場所が無いと感じることがありますか？

私はロータリークラブという組織で先ず大事なことは「クラブでの居心地の良さ」、つまり自分の自然体でクラブ行事に参加し、会話ができる雰囲気があるかどうかだと思っています。そのような雰囲気が無いとロータリー活動に前向きに取り組む、あるいは協力することが困難になると思います。

会員選考委員会は理事会から新会員に関する諮問が降りてきた場合、運営内規に基づき会員資格要件、職業上および社会的地位、一般的適格性に問題無いか確認し理事会へ答申いたします。しかしながら一番大事なことは、推薦者あるいは推薦同意者が他のクラブ会員と同じ目線で新会員を推薦していただいているかどうかです。なぜなら新会員候補者のことを一番ご存じなのは基本的に推薦者だからです。

新会員候補者に期待する人物像として私は、当クラブに馴染まれ、皆さんと一緒に居心地の良い雰囲気を自然と作っていただける方だと思っています。つまり社会的常識、協調性とバランス感覚です。そのような方の入会が当クラブのロータリー活動を活性化します。その好循環が加藤会長の運営テーマである「誇りと責任」に繋がると私は理解しています。

会員の皆さん、誇りと責任を持てる新会員のご推薦をいただきますようお願いいたします。

ロータリー情報委員会 鈴木 義尚 委員長



新会員と近年入会会員を対象としたオリエンテーション実施によるロータリーの理解促進と既存会員へのロータリー情報提供による退会防止について

ロータリー情報委員会は、ロータリーの理念や歴史、活動の意義を会員に分かりやすく伝え、クラブの中で共通の理解を作り、活動への納得感や一体感を高める役割を担っています。新会員には

ロータリークラブとは何か、委員会活動や行事の背景などを伝え、長く在籍する会員にとっても改めてロータリーを再確認する機会となります。

本年度も、ロータリーへの理解促進のため、新会員と近年入会会員を対象としたファイヤーサイドミーティングを予定しています。ファイヤーサイドミーティングは「ろばた会談」とも呼ばれ、少人数でざっくばらんに語り合い、例会では聞きにくい疑問やロータリーに対する思いを気軽に共有する場です。昨年は9月にANAクラウンプラザホテル22Fで開催し、ロータリーの歴史や目的に加え、「なぜ奉仕を行うのか」「職業奉仕とは何か」「クラブの魅力はどこにあるのか」などについて、経験豊富な会員と直接語り合いました。その結果、会員同士の距離が縮まり、「例会が以前より楽しくなった」「ほかの会員の考え方を知ることができた」「ロータリーの意味が少しわかった」といった声も聞かれました。

ファイヤーサイドミーティングは、新会員教育だけでなく、既存会員が「自分はなぜロータリーにいるのか」「どんな価値を感じてきたのか」を再確認する学び直しの日でもあります。また、地区活動や奉仕活動、ロータリー財団、米山記念奨学会などについて継続的に情報を提供することで、会員の理解と関心が深まり、参加意識やクラブへの愛着につながり、退会防止にもつながると考えています。今後も「知る機会」と「語り合う機会」を作り、会員同士が気軽に対話できる環境づくりを通じて、より魅力あるクラブにつなげていきたいと思っています。



● 卓話予告

日時	テ　　マ
9/3(木)	「最近の経済情勢について」 日本銀行 広島支店 支店長 片桐 大地 氏 (広島RC)



例会日・木曜日 12:30～13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会 長 加藤 博基
幹 事 柴田 脩司

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail: hwrc@godorc.gr.jp
作 成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC

検索

